

ゆずの実

佐世保市立柚木小学校
No.9 R. 6. 6. 14 (金)
文責：山口伸一郎

6年生が「お田植祭」に参加しました。

好天に恵まれた7日(金)、6年生が宮中献穀事業の「お田植祭」に参加しました。宮中献穀は、毎年11月23日に執り行われる『新嘗祭』において、日本全国から宮中へ新米を献上する宮中行事です。献穀米の生産を通じて米生産地としての認知度向上をはじめ、稲作文化の継承にも寄与すると言われていているということです。

これまででも、毎年県内の農業者から選ばれた奉耕者による献穀が行われていますが、本年は佐世保市が長崎県から推薦をいただき、柚木地区の農地で奉耕されることになり、6年生の子どもたちが参加させていただくことになりました。佐世保市での実施は、昭和57年以来42年ぶりになるということです。



＜「お田植祭」の苗植えの様子＞

今回は、男子が早男、女子が早乙女の衣装に身を包み、豊作を祈願して、古式にのっとり女子が苗を手植えました。このような衣装を身につけることは全員初めてですし、田んぼに入ることも初めてという児童もいて、慣れない体験に緊張していた子どもたちでしたが、説明を聞きながら無事に苗を植えることができました。たくさんの保護者や地域の方々にも参観いただき、子どもたちにとっては、歴史も含めて、稲作文化についてあらためて考えるきっかけになるとともに、ふるさと柚木の自然の豊かさ及び伝統文化について実感する貴重な機会となりました。

次回は、10月の抜穂祭(ぬいぼさい)で、男子が稲刈りを行う予定です。これから、自然豊かな柚木の大地でたくさんの栄養を蓄え、すくすくと成長した苗が立派な稲へと生長し、たくさんのおいしいお米が実ることを願って、その日を楽しみにしたいと思います。これからも地域の「ひと・こと・もの」の学びを大切にしていきたいと思っています。



4～6年生で「体力テスト」を実施しました。

12日(水)、4～6年生で、毎年実施している体力テストを実施しました。ソフトボール投げや長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、上体起こし等の種目について、縦割り班で実施しました。他にも、握力と20mシャトルランがありますが、それについては学級で実施する予定です。このテストを通じて、持久力や筋力、俊敏性等、総合的に自身の体力について確認するとともに、体力向上や健康維持につなげていくことが大切になるとと思いますので、子どもたちには、まず自身の体力について関心をもってもらいたいと思います。

本校の子どもたちは、集団登校を基本として徒歩で登校することが多く、坂もあるため、毎日の登下校だけでも随分と体力向上につながっていると思います。また、朝や昼休みも積極的に運動場で走ったり、ボール遊びをしたり、一輪車に乗ったりする等、積極的に運動に親しむ姿が見られます(大谷さんのグローブを借りにくる子もいます)。このように、まずは楽しく体を動かすこと、成功や失敗にとらわれず、運動にチャレンジすることが大切なことだと思います。ゲームやSNSの普及、気候条件の悪化等もあり、子どもたちが運動に親しむ環境が減りつつある現代。子どもたちが身体を動かすことの楽しさを実感できる機会を、私たち大人が整えていくことが必要だと思います。

